

今治・しまなみ地域通訳案内士育成等業務
プロポーザル企画提案評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「今治・しまなみ地域通訳案内士育成等業務委託仕様書」などの関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容やヒアリングでの説明、質疑応答から各提案者の次の項目について、評価を行い受託候補者の順位づけを行う。

(1) 業務遂行力

- ① 専門技術
- ② 実施体制
- ③ 同種同規模業務の実績

(2) 企画提案力

- ① 実施方針
- ② 工程計画

(3) 取組姿勢

- ① 取組意欲
- ② 信頼性

(4) 見積金額

2 各項目の評価の視点

(1) 業務遂行力

本業務を実施するにあたっての専門技術、実施体制及び類似業務の実績について審査する。

ア 責任者の実務経験、実績は十分あるか。

イ 仕様を熟知しているか。

ウ 業務に関連する本市の取り組みを十分理解しているか。

エ 業務を安定的に実施することができる体制ならびにサポート体制は十分あるか。

オ 本業務を遂行するに足りうる実績を有しているか。

(2) 企画提案力

① 実施方針について仕様書の項目ごとに審査する。

ア 仕様書を踏まえた具体的な提案がなされているか。

イ 仕様書記載の内容が漏れなく達成されているか。

ウ 質の高いガイドを育成する研修内容、時間となっているか。

エ 研修の内容や目的に適した開催手法、場所、講師が選定されているか。

オ 広く周知を図るための広報宣伝体制であるか。

- カ 試験の目的や内容に合致した審査員が選定されているか。
- キ 試験の内容は研修効果を確認できる内容・方法となっているか。
- ク 地域通訳案内士が活躍できる機会を創出できるよう効果的な方策が提案されているか。

② 工程を検証し、業務実施に支障はないか審査する。

- ア 確実に履行できるスケジュールとなっているか。
- イ 発注者側の意図を組み入れる機会が十分に設けられているか。

(3) 取組姿勢

業務の取組意欲や信頼性を、プロポーザルの説明、提案から審査する。

- ア 分かりやすく説得力のある説明・提案・質疑応答がなされたか。また、事業受託に対する熱意が感じられるか。

(4) 見積価格

業務実施に支障がなく、最小限の費用で効果的な実施が期待できるか審査する。

- ア 仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか。
- イ 最小限の費用で、効果的な実施が期待できる提案がなされているか。

3 評価項目及び配点

評価は、200点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目	配点 (満点時)
(1) 業務遂行力 (50 点)	
ア 責任者の実務経験、実績は十分あるか。	10
イ 仕様を熟知しているか。	10
ウ 業務に関連する本市の取り組みを十分理解しているか。	10
エ 業務を安定的に実施することができる体制ならびにサポート体制は十分あるか。	10
オ 本業務を遂行するに足りうる実績を有しているか。	10
(2) 企画提案力 (120 点)	
① 実施方針 (100 点)	
ア 仕様書を踏まえた具体的な提案がなされているか。	10
イ 仕様書記載の内容が漏れなく達成されているか。	10
ウ 質の高いガイドを育成する研修内容、時間となっているか。	15
エ 研修の内容や目的に適した開催手法、場所、講師が選定されているか。	15

オ 広く周知を図るための広報宣伝体制であるか。	15
カ 試験の目的や内容に合致した審査員が選定されているか。	10
キ 試験の内容は研修効果を確認できる内容・方法となっているか。	10
ク 地域通訳案内士が活躍できる機会を創出できるよう効果的な方策が提案されているか。	15
② 工程計画（20点）	
ア 確実に履行できるスケジュールとなっているか。	10
イ 発注者側の意図を組み入れる機会が十分に設けられているか。	10
（3）取組姿勢（10点）	
ア 分かりやすく説得力のある説明・提案・質疑応答がなされたか。また、事業受託に対する熱意が感じられるか。	10
（4）見積価格（20点）	
ア 仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか。	10
イ 最小限の費用で、効果的な実施が期待できる提案がなされているか。	10
合 計	200

4 評価

- （1）評価項目（1）から（4）アの評価の際には、下表に示す評価基準に基づきAからFまでの6段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	優れている	×1
B	やや優れている	×0.8
C	普通	×0.6
D	やや劣っている	×0.4
E	劣っている	×0.2
F	要件を満たしていない。または、示されていない。	×0

- （2）前項評価項目（4）イの評価の際には、提案者の見積価格に応じ下表のとおり評価点を算出する。

評価基準及び配点の倍率（小数点以下切り捨て）	
評価点（10点）×	$\frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案者見積価格}}$

5 受託候補者の決定方法

選定委員の評価に従い順位づけを行う。ただし、評価項目（１）から（４）アにかかる全委員の平均得点が６割（114点）に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者とししない。

（最高評価の者が複数いる場合の順位づけ）

- ① 企画提案力の評価が高い者
- ② ①が複数いる場合は、提案金額の最も安価な者